

花炭の作り方

用意するもの

空き缶



お菓子の缶
などなんでも

四角でも丸
でもOK

針金



細めのもの
がベター

ペンチ



花炭にする材料



センターの経験では・・・
炭素が主成分のもの
なら大抵のものはOK

水分を多く含んだ果実
は難しい

花びらなど薄いものは
壊れてしまう

いろいろな材料を試してみてください

作り方



材料を入れる

重要☞ 材料に含まれている水分が大きく違うものは、できるだけ同じ缶に入れない

あまり詰め込みすぎない



蓋をして針金で縛る

空き缶の縁の角の部分は、針金を直角に曲げてしっかり縛る



できあがったときに、棒やスバサミでぶら下げて火から下ろせるよう、縛った針金の残りで取っ手を作っておく



火の中に入れる(ある程度の火力は必要)

なるべく斜めにならないように置く

センターでは半割ドラム缶ストーブを使用しています(一度に6缶ぐらい置ける)



蓋のすき間からガスが出てきて火がついてもOK

ガス(けむり)が蓋のすき間から出なくなったらできあがり

材料や火力によって違いはあるが、できあがりまで
15~30分程度



そっと持ち上げ冷たい地面に置いて冷ます

重要 ⚠️ 慌てて蓋を開けると、せっかくできた花炭に火がついて燃えてしまうので注意!

完成品(例)



ハスの実・ヒイラギの葉っぱなど



松ぼっくり



クリのいが



スギの葉っぱ



ヒョウタンなど



おりがみ



輪切りや竹もこの方法で炭に